

ハチノコギセル *Megalophaedusa kawasakii* (Koroda)

【選定理由】

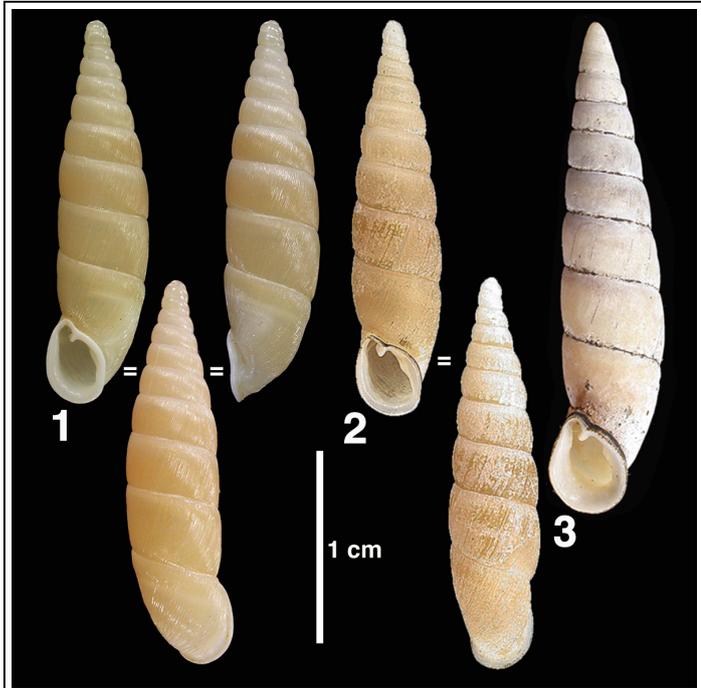
愛知県豊橋市石巻山、嵩山を模式産地とするキセルガイで、その個体数も著しく減少傾向にある。

【形態】

殻は中形で殻高 20 mm 内外、殻径 5 mm、螺層 11、重厚堅固不透明の殻質で、帯黄白色の薄い殻皮は蝕害されていない場合が多い。殻は円筒状のずんぐりした紡錘形で、螺頂部は急に細くなる。

【分布の概要】

石巻山、嵩山の特産種とされていたが、広く三河東部から静岡県西部に分布することが明らかになった。



1: 豊橋市石巻山, 1989年5月28日, 2,3: 岡崎市田原坂, 2009年7月17日, 木村昭一採集

【生息地の環境／生態的特性】

石灰岩地の礫間に生息するが、必ずしも石灰岩地のみではない。岩礫地の落葉下を好むが、余り群れを作らない。

【現在の生息状況／減少の要因】

石巻山、嵩山を始めとしてその分布地では、もともと稀産種であった上、ここ数年の乾燥化傾向で稀産の度を高めている。

【保全上の留意点】

生息確認地を中心とした樹林や岩礫地の保全に留意する。また、採取の防止に努める。

【特記事項】

愛知県を模式産地とするキセルガイの1種であるとともに、名古屋の故川崎義令氏の発見した貝でもある。ツメギセルガイ東海道型との類縁関係が論議されているが、ツメギセルガイの方は殻頂部がハチノコギセルよりやや細い傾向がある。環境省では準絶滅危惧種にランクされている。

【関連文献】

柴田吉夫, 1995. 北設山岳県立公園一帯の自然科学. 北設山岳県立公園及びその付近の陸産貝類, p.81. 愛知県商工部通商観光課・北設山岳県立公園地区協議会・鳳来寺山県立公園地区協議会.  
 吉田博士祝賀記念誌論文篇, 1939. 三河石巻山嵩山(スセ)の陸貝相, pp.675-677.  
 天野景従, 1966. 愛知県の陸貝相. 東海高校研究紀要 4: 6.  
 愛知県科学教育センター, 1967. 愛知の動物, p.151.  
 野々部良一・高桑 弘・原田一夫, 1984. 陸産貝類. 愛知の動物, p.28. 愛知県郷土資料刊行会.  
 増田 修・波部忠重, 1989. 静岡県陸産淡水産貝類相, pp.30-34. 東海大学自然史博物館  
 鳳来寺山自然科学博物館, 1973. 鳳来寺山 - 自然と文化 - 鳳来寺山の陸貝, p.84.  
 中根吉夫・木村昭一, 1996. 設楽町の軟体動物. 設楽町誌『自然編』『資料編』, pp.225-234. 設楽町.  
 東 正雄, 1982. 原色日本陸産貝類図鑑, p.63. 保育社.

(2009年版(原田)を一部修正)